

Asahi
11/25

ローマ教皇 広島訪問1年記念

「平和への祈り 新たに」



平和記念公園でろうそくに火をともし、黙禱（もくとう）する参加者ら。いずれも広島市中区

ローマ・カトリック教会のフランシスコ教皇の広島訪問から1年。カトリック広島司教区などは24日、広島市内でミサなどを開き、参加した信者らは平和への思いを新たにしました。

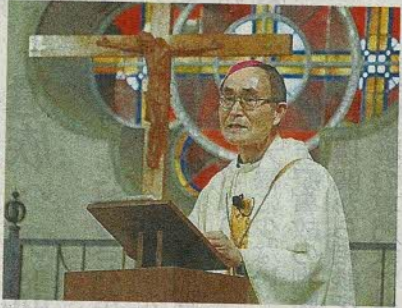
午後4時ごろ、中区の世界平和記念聖堂で記念のミサが開かれた。白浜満司教は信者ら約70人を前に、「平和を願う思いを新たにしながら、地道に平和のた

めの奉仕をしていきたい」と述べた。

午後6時ごろには、カトリック広島司教区公認のボランティア団体「核なき世界基金を支援する会」や谷本平和財団などが平和記念公園で祈りのイベントを開催。参加者約50人は、教皇が昨年実際に使った燭台と手元のろうそくに「平和の灯」の火を移した。白浜司教は、教皇が広島で発した「戦争のために原子力を使用することは犯罪以外の何ものでもない」といったメッセージを代読。参加者は原爆犠牲者のために黙禱を捧げた。

谷本平和財団の近藤紘子理事長（76）は「核兵器禁止条約の発効を前に、核兵器のない世界へ希望を捨てないと誓った」と話した。

信者を前に説教する白浜満司教



（比嘉展玖）